

## グテレス国連事務総長

グテレス国連事務総長「写真」は30日までに産経新聞に寄稿し、国連平和維持活動（PKO）部隊が、過激組織の標的にもなり得る「新しい現実」への対応を迫られていると強調した。

私が1月に事務総長として初めて国連を訪れた際、最初にしたのは平和活動で命を落とした国連スタッフ3500人以上をたたえる花輪を置くことだった。過去70年以上、多くの命がPKOで救われた。部隊展開前と比べ、市民の被害が90%以上も減ったという独立した研究はPKOの価値を証明している。

PKOは費用対効果が高い。予算は世界の総軍事費の0.5%以下。米国の研究によれば、PKOは米国が単独で動くより8倍も費用対効果が高いという。

世界規模のテロリズムの出現により、どこかの不安定化は全ての地域の脅威となる。PKO部隊は無法地域の出現を阻止するため最前線にいる。

PKO部隊が2年前に中央アフリカ共和国に到着したとき、同国は大量虐殺の脅威に直面していた。今、民主的プ

## PKO 過激組織の標的 迫られる対応

ロセスで新政府が誕生している。南スーダンでPKO部隊は20万人以上を保護している。飢饉の中、部隊は救命品を配る人道機関の安全を守っている。

世界の平和は抽象的な概念のように見えるかもしれない。だが地上の平和は、危険な条件下の懸命の活動があればこそだ。世界は他者が行けない場所に行くPKO部隊に依存している。

PKO部隊はしばしば過激主義者らの標的となる。この新しい現実に対処するとき、私たちの側で真剣な戦略的



改革が必要となる。私たちはPKO部隊を危険で挑戦的な環境に適合させなければならぬ。私たちは

PKO部隊を直前の指示だけで展開できるように改革を行ってきた。私は各国政府とともに、部隊が必要な装備とルールを整えられるよう連携する。

PKO部隊は（現地での要員による）性的虐待などで体面を汚してきた。これと戦うのは優先課題だ。私は、被害者の人権擁護者を部隊内に置くプランを加盟国に提案している。世界の人々は子供たちを平和の中で育て教育と機会を与えるため、安心と安全を欲している。PKO部隊は全ての人々のために、世界をより安全にする。